

2024年9月25日

新関西国際空港株式会社
代表取締役 保田 亨 様
関西エアポート株式会社
代表取締役社長 山谷 佳之 様
株式会社 Scenery Scent
代表取締役 郡 香苗 様
一般社団法人 関西イノベーションセンター
理事長 早乙女 実 様

カナリア・ネットワーク全国
共同代表 青山和子
共同代表 深谷桂子

関西国際空港ラウンジでの香り演出の実証実験に関する意見書

私たちは、日用品に含まれる香料や消臭成分等の化学物質による健康被害（香害）を受けている当事者を中心にして、2021年に発足した団体、「カナリア・ネットワーク全国（CAN）」と申します（2024年9月現在、会員数約860人）。

このたび、御社が発表されていた「関西国際空港ラウンジでの香り演出の実証実験」に対して、多数の方から香りの影響を心配する意見が寄せられていることかと存じます。現在、実証実験の実施は延期されたとのことで、ご勘案いただいておりますことに感謝申し上げます。

香りの問題とその影響につきましては、様々な背景があることをご承知おきいただきたく、この意見書をお送りいたします。

香りは人を癒す良いものであると思われていますが、それはパーソナルな空間における嗜好品です。嗅覚の感受性の個人差や体質や障害への影響を無視し、公共の場で意図的に使用することには問題があります。

香りは自然物、人工物を問わず、アレルギー症状を起こす化学物質でもあります。また、片頭痛、喘息、化学物質過敏症等の患者、抗がん剤治療者、発達障がいによる感覚過敏者、妊婦等は、頭痛、咳き込み、吐き気、意識障害などの健康被害を受けます。そのため、香りのある空気が「社会的障壁（バリア）」となり、そうした空間を利用することが出来ません。

＊2 障害者差別解消法についての説明（内閣府）

https://www.cao.go.jp/press/new_wave/20240520.html

＊3 5省庁連名ポスター「その香り困っている人もいます」

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/034017/>

＊4 厚生労働科学研究「種々の症状を呈する難治性疾患における中枢神経感作の役割の解明と患者ケアの向上を目指した複数疾患領域統合多施設共同疫学研究」代表者：獨協医科大学 小橋元（令和4年度）

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/163139>

分担研究報告書「化学物質過敏症候群患者の中枢感作検証」千葉大学 坂部貢

https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202211048A-buntan8.pdf

<問い合わせ先：カナリア・ネットワーク全国>

<https://canary-network.org/member/contact/>